

2024(令和6)年度

## つつじヶ丘小学校の教育

### 1 本校の教育理念

#### 「子どもを『安心感』の中で育てる」

子どもたちにとって、学校は安心して過ごせる場所であるべきです。

学校は子どもが学習するところであり、安心して学習に取り組めることこそ、子どもの成長につながります。

つつじヶ丘小学校は、子どもに「安心感」を持たせることを最優先にしながら、日々の教育活動の充実に努めます。

### 2 学校教育目標(つつじ小・南つつじ小・東輝中の共通目標)

#### 「志の実現」

- ◇ 自他を理解し、互いに支え合う児童生徒の育成
- ◇ 豊かな人間性や社会性を身に付けた児童生徒の育成
- ◇ 物事を深く考え、主体的に学び、努力し続ける児童生徒の育成

#### 【3つの力】



### 3 めざす学校像

#### 「すべての児童が『安心感』を持って過ごせる学校」

- ◇ 児童が安心して学習に取り組める学校
- ◇ 保護者が安心して子どもを預けられる学校
- ◇ 教職員が働きがいを感じながら、安心して教育活動を進められる学校
- ◇ 保護者と学校、地域と学校が互いに信頼し合い協力できる学校
- ◇ 保護者同士、保護者と地域が互いに信頼し合い協力できる学校

#### 4 育てたい児童像

- ◇ 自分も周りの人も大切にできる児童
- ◇ 自分の意見を持ち、正しい判断ができる児童
- ◇ 自ら学び、自ら考え、自ら行動できる児童

#### 5 今年度の重点

##### (1) すべての児童に居場所がある学校づくり

- ◇ 学校や教室で児童が安心して過ごし、学習に取り組める。
- ◇ 関係機関と連携しながら、子どもや保護者への教育相談の充実を図る。

##### (2) 人権教育を基盤とした学校づくり

- ◇ 人権教育の柱として特別支援教育を位置づけ、インクルーシブ教育の充実を図る。
- ◇ 全教職員が特別支援教育への理解を深め、授業力向上を図る。
- ◇ 特別支援教育の教育内容及び教育プログラムの充実を図る。
- ◇ 支援級と交流級が連携を深め、全教職員で育てたい児童像にせまるよう努める。

##### (3) 教職員の「学年チーム」を中心としたチーム力を活かす

- ◇ すべての教育活動において教職員の「チーム力」を活かす。
  - 「一部教科担任制」や「担任交換授業」等の効果的な導入
  - 英語及び理科、音楽の専科授業と算数 TT 授業、小中連携授業の導入
  - 担任外学年付担当教員の配置
  - 養護教諭の複数配置
- ◇ 若手と中堅及びベテラン教員の協働による人材育成を図る。  
(令和の学びプロジェクト及び OJT の活用)
- ◇ 学校の方針や児童の状況・情報等の共有を徹底する。
- ◇ 新たな仕事へのチャレンジとともに、仕事の見直しや工夫による働きがいのある学校づくりをめざす。

##### (4) 楽しく分かりやすい授業を実践する学校づくり

- ◇ 児童の主体的な考えや活動を大切にし、自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成を図る。
- ◇ 亀岡市教育委員会から学力向上拠点校の指定を受け、関係機関や専門家からアドバイスを受けながら、本校児童の学力向上を図る。

##### (5) 小中学校9年間を見通し、児童の願いや希望が叶う学校づくり

- ◇ 小中一貫教育の推進(別紙)
- ◇ 小学校期を志(願いや希望)の芽生えの時期と捉え、「キャリアパスポート」を有効に活用しながらキャリア教育の充実を図る。

\*上記①～④に掲げた重点目標達成のために小・中学校間で連携を図りながら具体的な実践を進める。